

(21) 資源回復計画推進事業（マコガレイ）

予算

運営費交付金

結果の概要

栽培漁業基本計画の対象種であるマコガレイについて放流技術の開発を実施した。

マコガレイの大阪湾中南部放流群の移動や成長を調べるため、2011年以前に放流した個体の調査を行ったが、採捕個体は確認されなかった。今年度は7月9日～25日に泉南市樽井と阪南市尾崎、岬町深日・谷川地先の4ヶ所へ2万5千尾ずつ合計10万尾を放流するとともに、大阪湾中南部放流群の移動や成長を調べるため、樽井、深日、谷川にスパゲティ型標識を装着した平均全長69.7～79.4mmの標識魚を放流した。2013年度標識放流魚の年度内の採捕はなかった。スパゲティ型標識装着の魚体への影響については、平均全長がやや小さい「深日 A」と「谷川」の試験区で生残率、標識残存率がやや低くなった。「深日 B」は生残率、標識残存率とも高いことから輸送ストレスの影響は小さいとみられた。

調査方法

1. 調査期間

2013年4月～2014年3月

2. 調査項目

1) 放流効果調査

昨年までに放流した個体と、今年度放流個体のデータを収集した。

2) 標識装着影響調査

標識放流魚の一部を水槽で飼育し、標識の脱落数と斃死数を調べた。

調査結果

表1、2のとおり。

担当者

鍋島靖信、辻村浩隆

表1 マコガレイ種苗放流結果

放流場所	放流日	無標識放流数	放流魚 平均全長	標識放流数	標識種類	標識放流魚 平均全長	報告数(2014年3月末)
樽井	7月9日	25000	80mm	1338	スパゲティ黄	79.4mm	0尾
尾崎	7月9日	25000	80mm	—	—	—	—
深日	7月10日	25000	80mm	1265	スパゲティ青	69.7mm	0尾
谷川	7月25日	25000	80mm	1400	スパゲティピンク	70.5mm	0尾
合計		100000	80mm	4003	—	—	0尾

表2 2013年マコガレイ標識装着影響調査

試験区	收容尾数	飼育開始時 平均全長	飼育日数	生残率	標識残存率
樽井	150	80.9mm	67	88.7%	87.3%
深日A	150	73.9mm	65	73.3%	73.3%
深日B	81	77.6mm	65	90.1%	90.1%
谷川	113	73.9mm	50	78.8%	71.7%
対照区	200	76.7mm	65	90.2%	—

[深日B]は輸送ストレス(輸送し持ち帰る)をかけた個体を用いた。